

### 提出された議案等

令和8年2月定例会では議案91件及び諮問1件が提出され、議案については、いずれも原案のとおり可決、承認または同意され、諮問については、請求を棄却する旨の答申が決定されました。

- 予算議案 34件
  - ・令和8年度福岡県一般会計予算
  - ・令和7年度福岡県一般会計補正予算(第8号) など
- 条例議案 28件
  - ・福岡県公告式条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県公益認定等審議会条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県工業技術センター等使用料及び手数料条例等の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
  - ・地方自治法の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
  - ・知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・ふるさと福岡県応援基金条例の制定について
  - ・福岡県文化芸術振興基金条例の制定について
  - ・福岡県保健福祉関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県国民健康保険法施行条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県領収証紙条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県認定こども園の認定要件に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県幼保連携型認定こども園の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県保健環境研究所手数料条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県緊急経済対策資金等信用保証料補填臨時基金条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・福岡県商工関係手数料条例の一部を改正する条例の制定について など
- 専決処分したものについて報告し承認を求める議案 2件
  - ・令和7年度福岡県一般会計補正予算(第6号) など
- 契約の締結に関する議案 8件
  - ・包括外部監査契約の締結について など
- 経費負担に関する議案 10件
  - ・空港整備事業の経費の負担について など
- その他の議案 4件
  - ・第2期福岡県文化芸術振興基本計画の策定について など
- 人事に関する議案 1件
  - ・福岡県土地利用審査会委員の任命について
- 委員会提出議案 4件
  - ・福岡県議会会議規則の一部を改正する規則の制定について など
- 諮問 1件
  - ・退職手当支給制限処分に対する審査請求に関する諮問について

### 可決された意見書

- 偏在性の小さい地方税体系の構築を求める意見書
- 家庭の経済状況に左右されない教育環境の整備を求める意見書
- 太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書
- 雑品スクラップの適正な処理を確保するための対策強化を求める意見書

## 代表質問を終えて

#### 自民党県議団

新たに設置される文化芸術振興基金に対する思いと、今後の取り組みについて服部誠太郎知事に質しました。知事は、文化芸術が持つ力で、心豊かで活力のある元氣な「ふるさと福岡」を築くための基金を設置し、「世界水準の芸術の誘致」と、文化芸術を担う人材の育成・支援などの「未来への投資」に活用することで、更なる文化芸術の振興を図っていくと答弁されました。

福岡県福祉のまちづくり条例施行規則の改正について知事の見解を質したところ、障がい者団体や子育て当事者、高齢者団体、多文化共生支援団体、建築設計関係団体、交通事業者などの意見を広く聴取することで、福祉のまちづくりが施設利用者のニーズに合ったものとなるよう、当事者の視点に立った見直しを積極的に行うと回答されました。

中小企業振興局設置の狙いと来年度の施策について問うたところ、局の創設により、中小企業が「稼ぐ力」を高めて賃上げを実現し、人材を確保して成長し続けていくために、資金繰りや経営改善などの「経営面」と、DX化や新製品開発などの「技術面」の支援を一体的に進めていく狙いであると回答されました。来年度は、ワンストップで支援する「福岡県中小企業稼ぐ力応援センター」を設置し、人材の確保・育成や経営改善の支援を強化することで、同局を中心にさらなる中小企業の振興を図っていくと答弁されました。

#### 民主県政県議団

県庁の組織再編4部で、県民と外国人が共生できる社会、市町村の政策立案機能の強化、本県の飛躍・発展の礎となる人材を育て、働く人の雇用を守る施策を推進すると服部誠太郎知事が表明されました。

また、農業振興推進機構が荒廃農地も含めた農地の集積・集約化を進めて担い手の確保に努める、水産業では県産カキの東南アジアへの輸出可能性を探り輸出産地育成を図る、公共交通維持のための交通税導入は慎重に判断すべきものとされ、防災・交通に関するビッグデータの活用は自然災害への迅速な対応、効率的な物流や企業誘致に活用する、県の公共調達に関する公契約条例は労働政策審議会の場で議論していく、県内共通のカスタマーハラスメント対策のガイドライン作成は現時点で考えていない、県庁内のAIガバナンスについて自律的な業務が出来るようにガイドライン見直しを検討すると回答されました。

教育長は、生成AIの適切な利用が重要で教員研修を進める、会計年度任用職員は学校運営を支える重要な存在で、勤務環境に即した環境整備に努めると発言されました。天神の渋滞緩和は高速道路の整備よりソフト施策を中心に進める、地下鉄空港線と福北ゆたか線の接続可能性と新県立美術館の開館に合わせた大濠公園、舞鶴公園などの回遊性向上は福岡市と議論していくこと、県議会の海外出張は海外交流の熱意を示し海外戦略の必要性を理解できるなどさまざまな政策実現に効果があるとの認識を知事が示されました。

#### 公明党

3月2日、代表質問に立ちました。

今回の質問では、物価高対策や飲食料品の消費税減税、米国の関税措置への対応、福岡都市圏の治水対策など、県民生活に直結する課題を取り上げました。また、人口減少・少子化対策、こどもの権利を守る教育、外国人に対する排外的言動への対策、特殊詐欺など、これからの社会のあり方に関わる重要なテーマについても服部誠太郎知事、教育長、警察本部長の考えを質しました。

質問の冒頭では、アメリカとイスラエルによるイランへの大規模攻撃について、武力による現状変更は国際法違反であり断じて容認できないこと、直ちに攻撃を停止し、外交による平和的解決を図るべきことを申し上げました。

知事からは、物価高対策について18歳以下のこども一人につき1万円を給付する「子育て応援金」の実施や、県内中小企業の成長を後押しする「福岡県中小企業稼ぐ力応援センター」の設置など、県民生活と地域経済を支える具体的な取り組みが示されました。

また、医療的ケア児等の支援強化については、ご相談いただいた皆さまに答弁内容をご報告したところ大変喜んでいただき、私にとっても大きな励みとなりました。さらに、こどもの権利保障について具体的な取り組みが始まります。

今回の代表質問を一つの節目として、これからも現場の声を大切にしながら、県民の暮らしを守り、未来に希望の持てる福岡県づくりに全力で取り組んでまいります。

#### 新国会

今回の代表質問では、まず新年度予算について、4つの柱にどのような意図を込め、施策へどのように具体化していくのか、また組織再編との関係について質しました。県からは、新たな組織体制のもと、人づくりや産業振興、地域活性化、安全・安心の確保に一体的に取り組む、県民の暮らしと将来の成長をしっかりと支えていく方針が示されました。

続いて、私自身の出産・子育ての経験を踏まえ、産婦人科医療体制と子育て行政の在り方について取り上げました。県内の分娩施設は減少傾向にあるものの、医療圏ごとの体制確保や医療機関への支援、医師確保に向けた奨学金制度や処遇改善など、安心して出産できる環境整備が進められていることが示されました。

また、出生届のオンライン化や乳幼児健診のデジタル化など、子育て世帯の負担軽減に向けたこども政策DXについては、市町村への伴走支援や専門人材の活用により着実に推進していく方針が示されました。

さらに、中小企業支援や新たに設置される中小企業振興局による経営支援、防災分野におけるドローンやDXの活用、生成AIによる業務効率化、観光振興や農業対策、教育改革など幅広い県政課題についても議論を行いました。今後も、県民の声と現場の実感を大切にしながら、安心して暮らし、子どもを産み育てられる福岡の実現に全力で取り組んでまいります。